

臨床データ利用のお願い

豊田厚生病院では、以下の研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることを希望されない場合など、お問い合わせがありましたら以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

当院における亜鉛製剤内服患者の血中亜鉛濃度の測定状況に関する調査

2. 研究責任者

豊田厚生病院 薬剤部 吉川 真美

3. 研究の概要

亜鉛は必須微量元素で、欠乏により味覚障害、皮膚炎、脱毛、貧血、口内炎などを引き起こします。その亜鉛欠乏の治療のため日本では亜鉛を補充する製剤としてポラプレジンク（プロマック®）と酢酸亜鉛（ノベルジン®）の 2 種類があります。

亜鉛製剤は漫然と投与を続けることにより、同じ部位から吸収される銅の吸収が阻害され、銅欠乏による貧血や血球減少が起こる可能性があります。銅欠乏を予防するためにも亜鉛含有製剤の漫然投与は防ぐ必要があり、定期的な血清亜鉛・銅の濃度測定による評価が必要です。当院でも亜鉛製剤は広く処方されていますが、一定期間亜鉛製剤が投与されているにも関わらず、定期的な血清亜鉛・銅の濃度測定が確認されていない患者さんがみられます。そこで亜鉛含有製剤内服患者さんにおける血清亜鉛・銅の測定状況を調査し、明らかにすることを目的としています。

4. 研究の方法

①対象となる患者さん

2020 年 1 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までに亜鉛含有製剤が処方された患者を対象とし、亜鉛含有製剤投与開始前と開始後 3 カ月以内の血中亜鉛・銅濃度の測定状況を調査します。

②調査項目

電子カルテから下記の情報を調査します。

- 亜鉛製剤（ノベルジン、ポラプレジンク）の処方状況
- 亜鉛製剤の処方目的
- 身体所見（年齢、性別、身長、体重）
- 原病、合併症、臨床検査値（血清亜鉛、血清銅）
- 診療科

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連

資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：豊田厚生病院 薬剤部 吉川 真美

〒470-0396

豊田市浄水町伊保原 500-1

電話：0565-43-5000（代表）